

農力向上大作戦！脱成長シンポジウム

～Rio + 20(地球サミット)に向けてグリーンエコノミーを考える～



経済成長に頼らない自給共生社会を目指して。

「地球の来し方行く末」ものがたり



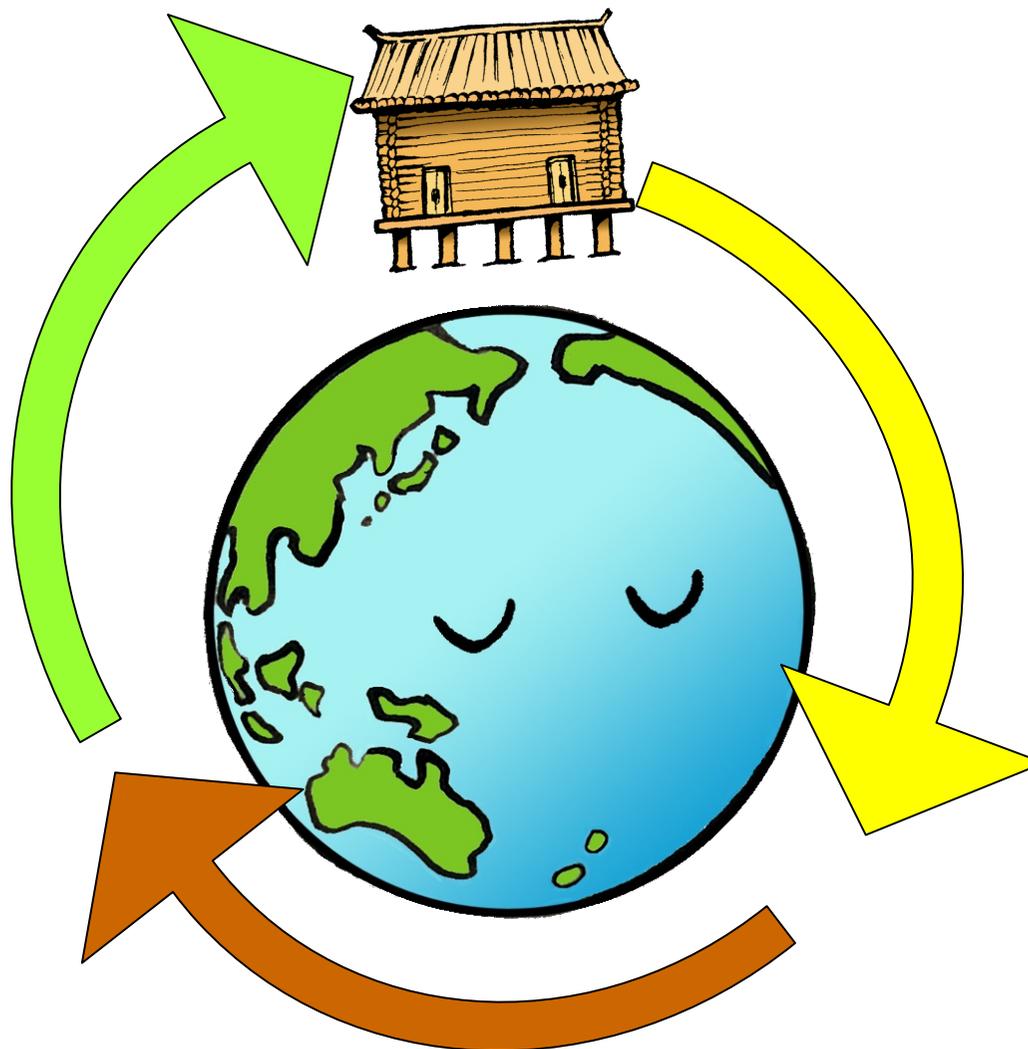
のり 力向上大作戦！

原始社会では、人も食物連鎖の環の中で生活していたので、
経済は「実需要 = 実供給(自然循環のめぐみ)」でバランスがとれていた。



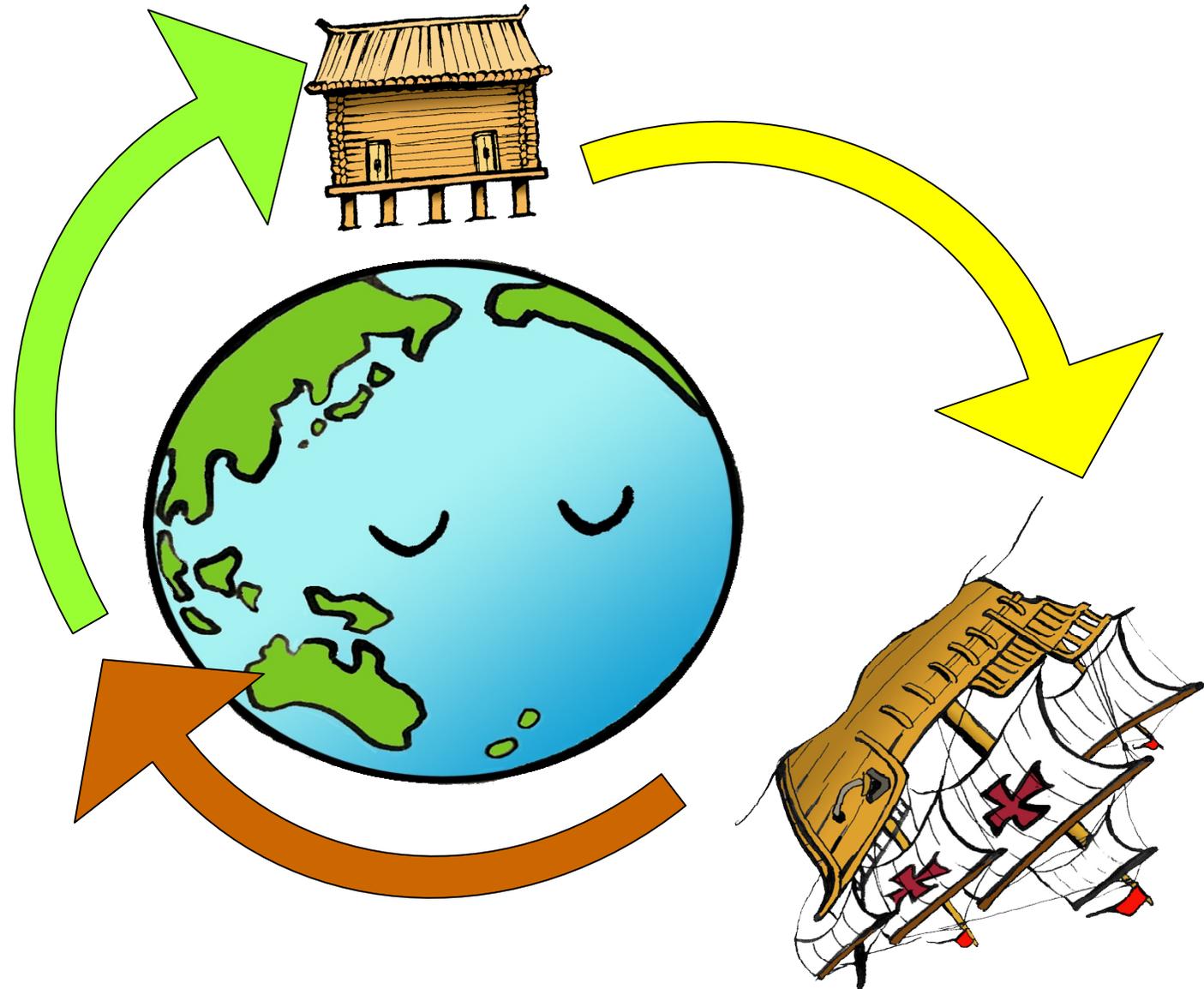
農耕社会では権力者が富を蓄え、

経済は「実需要 + 権力者の蓄財 = 実供給 + 搾取」になった。



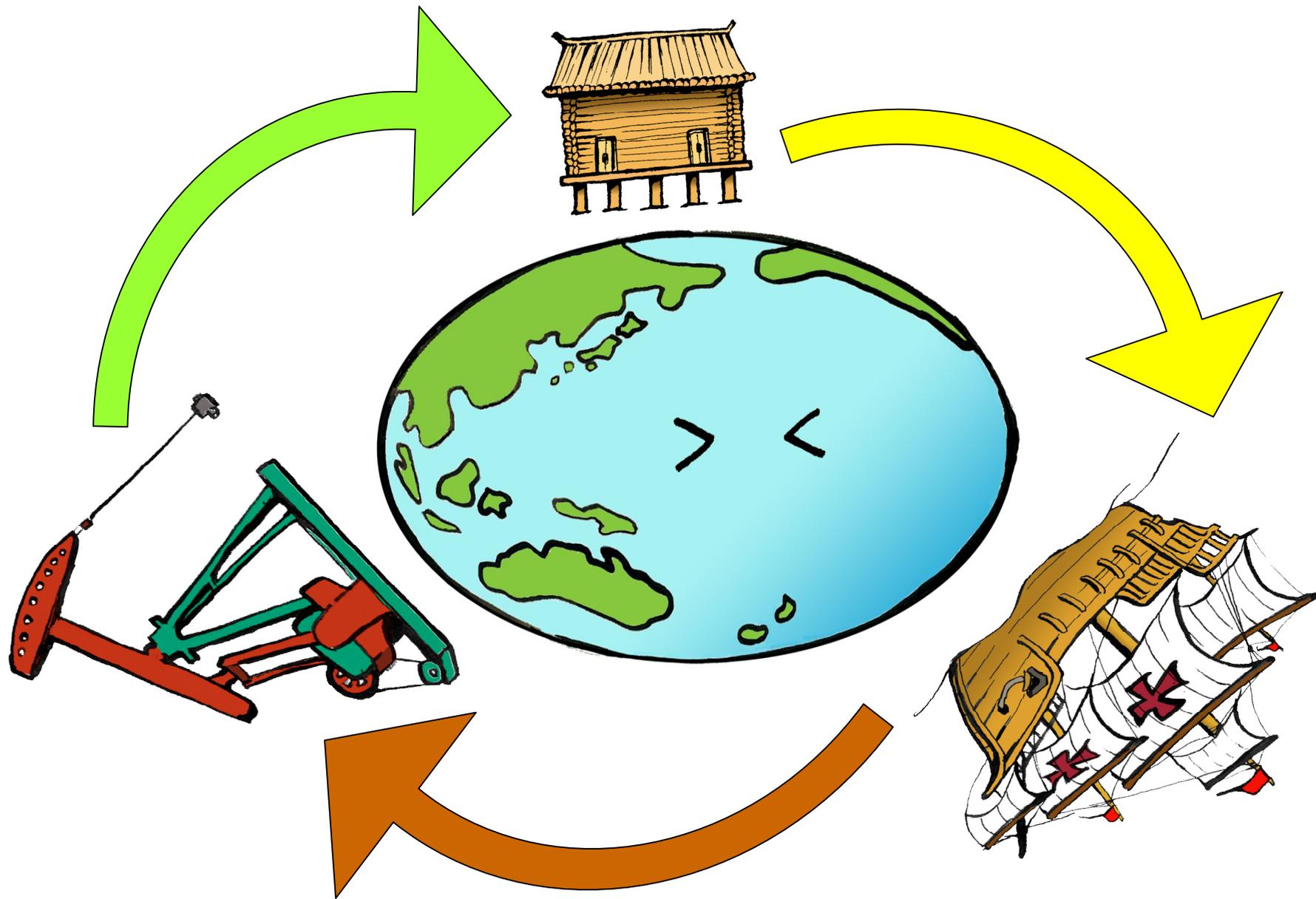
大航海時代に利子や株式制度が整うと、

経済は「実需要 + 権力者の物欲 = 実供給 + ハイリスク・ハイリターンによる充足」になった。

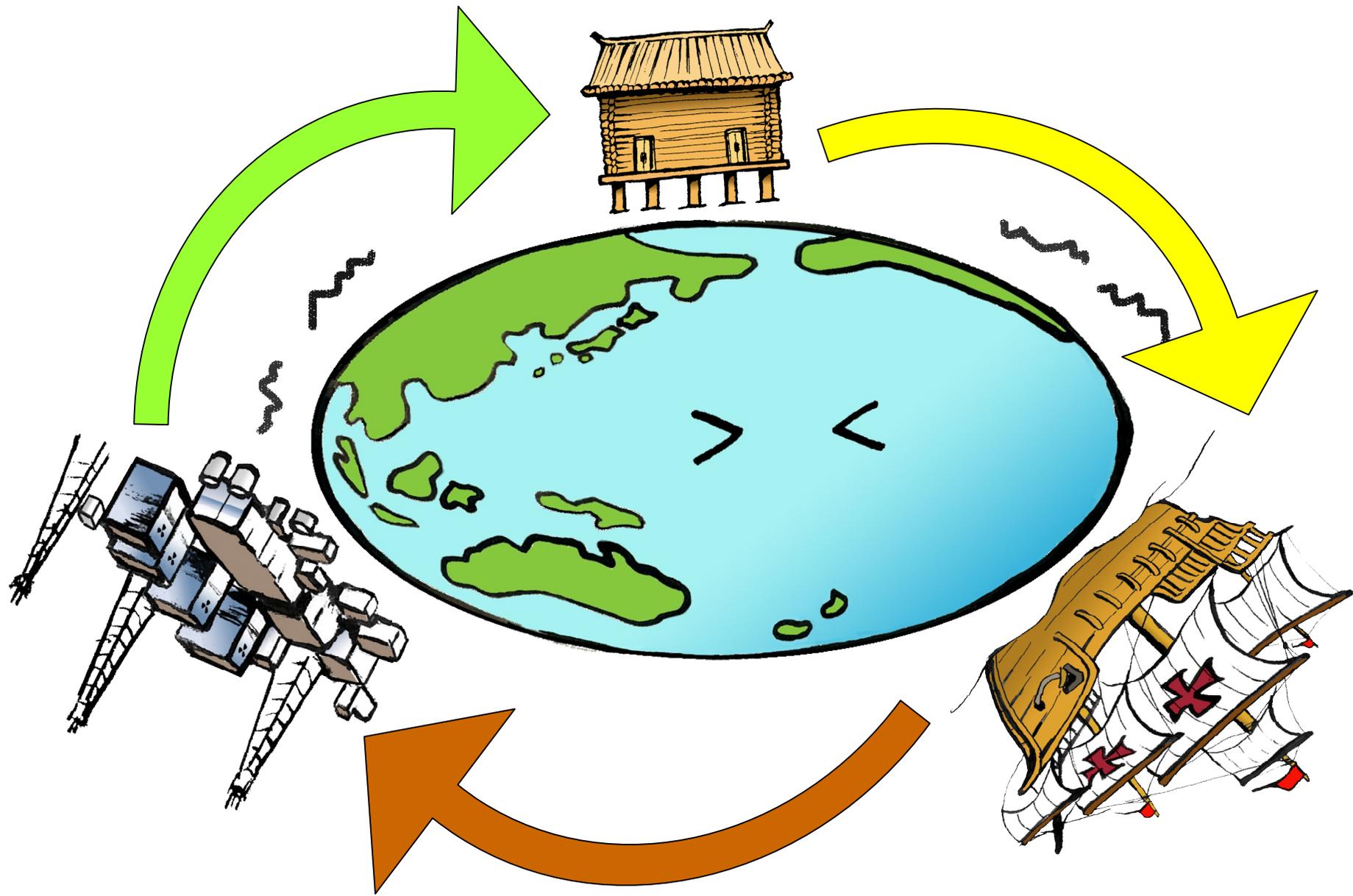


石油が発掘されて安くて質の良いオイルが出回ると、経済は

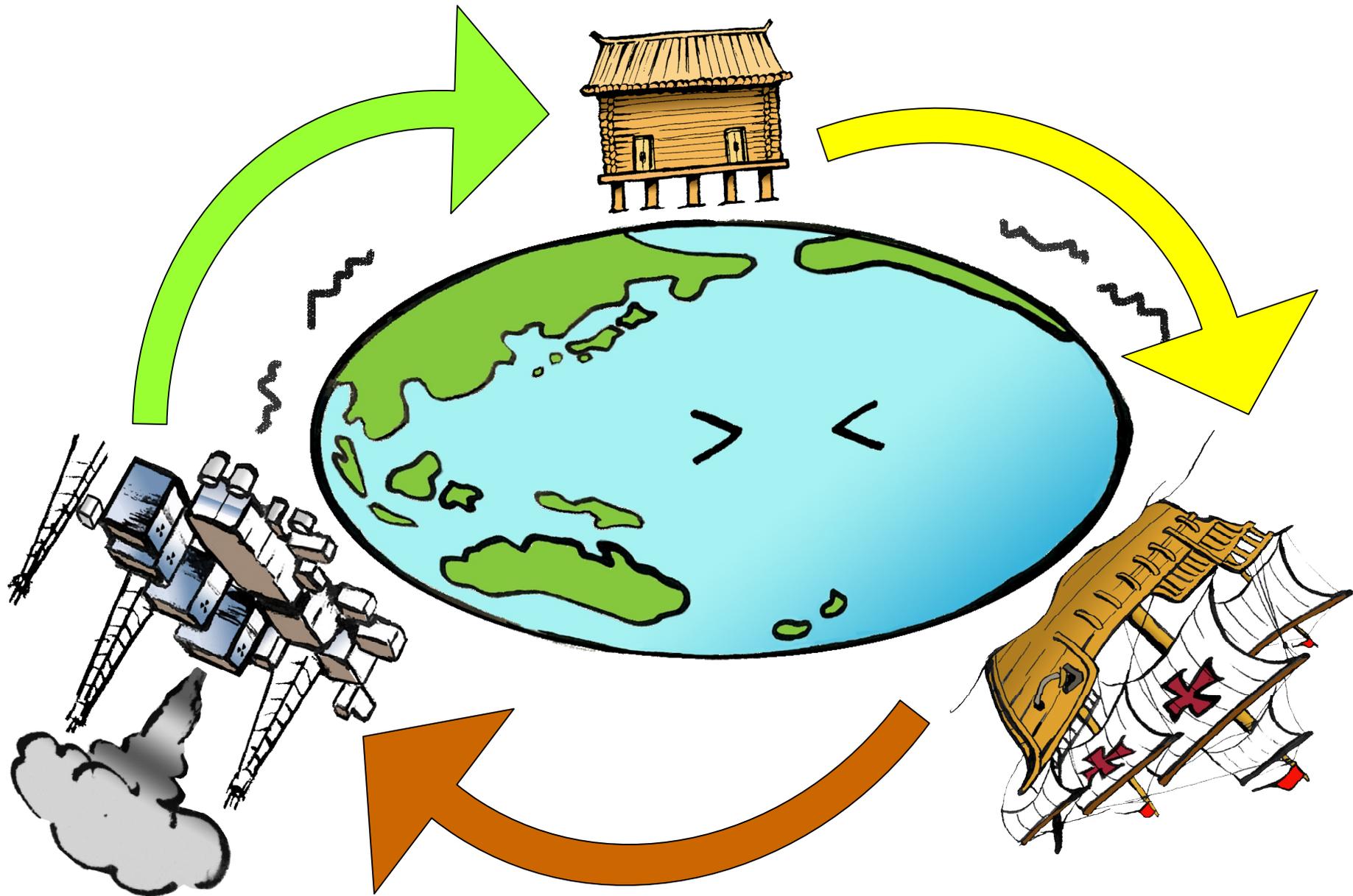
「実需要 + 消費者の物欲 = 実供給 + ローリスク・ハイリターンによる充足」で飛躍的に膨張。



良質の安い石油生産がピークに達したので、原子力に乗り換えようと推進したら、
その経済は「需要 + 消費者の物欲 = 供給 + ローリスク・ハイリターンによる充足」に思えた。



良質の安い石油生産がピークに達したので原子力に乗り換えようと推進したが、
その経済は「需要 + 消費者の物欲 = 供給 + ハイリスク・ローリターンによる充足」だった。

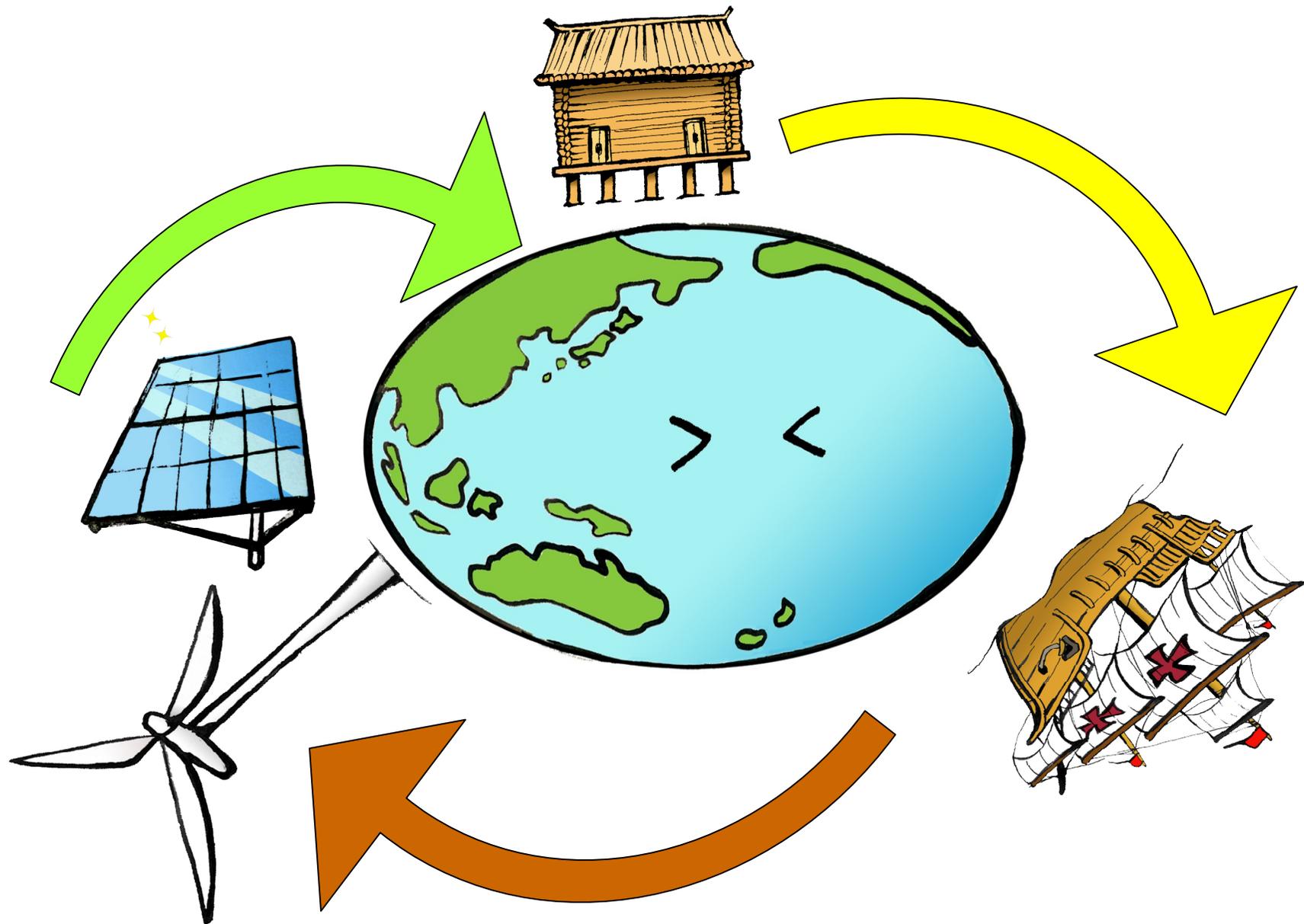




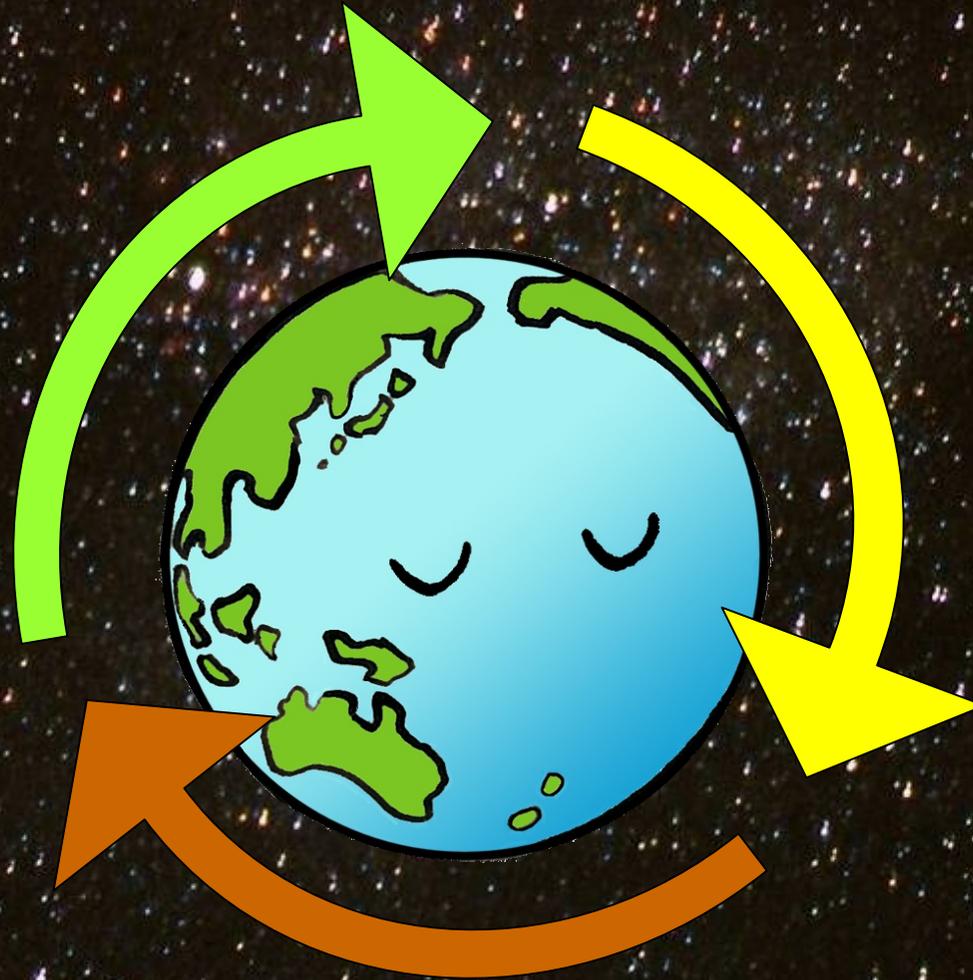
気がつけば経済活動による影響は、地球環境のキャパを大きく上回ってパンク寸前。

しかも温暖化ガスの削減も急務といわれている。

原発は事故を起こし化石燃料は高騰しているのに、自然エネルギーにシフトしたいが
その経済は「需要 + 消費者の物欲 = 供給 + ローリスク・ローリターンによる窮乏」でしかない。



グリーン経済とは、現状の「実需要 + 物欲 = 実供給 + 自然 / 弱者 / 将来からの収奪」を
「実需要 + 心の平穏 = 実供給 + 正しい現状認識から紡ぎ出される希望」にシフトさせること。



「地球の来し方行く末」ものがたり



アフター・ピークオイル研究会